

北海道消化器内視鏡技師会 感染防止対策ガイドライン

令和3年1月作成

はじめに

当ガイドラインは2019年新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、北海道消化器内視鏡技師会活動において感染の拡大なく安全に運営するために作成した。新型コロナウイルス感染症のみならず今後の新興感染症やインフルエンザ等の流行期等の感染対策に活用するものとする。

I 事業開催前

- ✓ 厚生労働省、北海道、開催地からの感染状況に関する正確な情報を確保する。
- ✓ 感染拡大のため開催の自粛を求められた場合や北海道警戒ステージ3となった時点で詳細を確認し、理事会と実行委員長で会の延期または中止の判断を行う。結果を北海道消化器内視鏡技師会ホームページでの告知、さらに直近の場合は会場での広報を行う。
- ✓ 感染症対策責任者および役割分担を明確に定める。

1. 使用会場において

- 1) 会場内の換気（場所、方法ならびに頻度）
 - 会場の空調設備に故障が無いか施設側に確認を行う。
 - 2か所以上のドアを常時開放し、空気の流れを作る。
 - 機器展示会場は開放空間で、空気の流れを作る。
- 2) トイレ、ドアノブなど共用部の清掃・消毒、ゴミの廃棄（場所、方法ならびに頻度を確認する）。
- 3) 会場スタッフ（協力会社を含む）への感染防止策の指導をする。
- 4) 使用施設側と協力し、感染疑いのある参加者を発見した際の対応について打ち合わせをする。
- 5) 緊急連絡先（会場付近の病院・保健所）を把握する。

2. 参加者への事前依頼

- 1) 参加希望者は、事前予約を受け付け締め切り日まで（1週間前程度）に行い、HGETS 参加同意書に氏名・連絡先を記入し、当日必ず受付に提出する。
- 2) 来場時は必ずマスク着用とする。
- 3) 下記に該当する場合は参加を控える。
 - A) 10日以内に発熱・咳・咽頭痛・息苦しさ等の症状が認められる場合
 - B) 保健所等の健康観察下にある場合（COVID-19と診断された、診断された人と濃厚接触歴がある）
 - C) 2週間以内に入国制限のある国・地域からの渡航者・在住者
 - D) その他、体調が優れない等（味覚・嗅覚異常を感じる時や疲労倦怠感を感じる時などを含む）

3. 運営スタッフの健康管理

会の開催2週間前からスタッフの体温測定と記録、健康チェックを徹底し、発熱など体調が優れない場合は参加しない。また各職場で感染症発生がある場合において、濃厚接触者である場合また職場で休務措置が出ている場合には参加を控える。

協力会社・出展企業等に対しても同様の対策を要請する。

II 事業当日

- ✓ 全参加者のリストを作成し、参加者を把握する。これは、事業後に参加者から感染者が発覚した場合、健康状態に応じて専門家の指示を受けるよう、参加者に連絡するためである。
- ✓ さらにこれを強化するために、「北海道コロナ通知システム」のQRコードを会場に掲示し、参加者にシステム登録の要請を行う。

1. 運営スタッフ

手指衛生とユニバーサル・マスクングを実施する。

- ・常時マスク、ゴーグルもしくはフェイスシールドを着用する。
※ゴーグル・フェイスシールドは流行期の着用とする。
- ・周囲の環境や参会者に触れた場合には、アルコールによる手指消毒又は流水と石けんによる手洗いを実施する。

2. 参加者

- 1) 会場入り口にて、非接触型体温計を使用し体温計測を行い、アルコールによる手指消毒を行ってもらう。
- 2) 全参加者に対し、マスクの着用を促す。
- 3) 入場制限→発熱者（37.5℃以上）や体調不良者は再度非接触型体温計で体温を測り、発熱が確認された場合は会場への入場を断り、速やかに医療機関へ相談し指示に従ってもらう。
- 4) 参加受付→事前申し込みした場合のみ参加できる。申し込みを行っていない者は入場を断る。
- 5) 記名→感染防止の観点から筆記用のボールペン等は各自で用意してもらう。

3. 会場

- 1) 入口・出口を分け、誘導に従って場内係員の案内で移動してもらい、一方通行とする。
- 2) 会場の入り口・講堂入り口・受付・記載台に、手指消毒剤を設置する。
- 3) 各人がドアノブに接触しないよう、会場の出入り口は常時開放とする。
- 4) 参加者同士がソーシャルディスタンスを保てない場合、場内スタッフは入場制限または移動の指示を出す。※ソーシャルディスタンス=1m以上の距離を可能な限り確保する。
- 5) 座長・司会席 → マイク・テーブルを使用毎に消毒する。
- 6) 演者席 → マイク・PC・マウス・レーザーポインターを使用毎に消毒する。手指消毒剤を設置する。
- 7) 質問者 → マイクは会場内のスタンド付きマイクを使用し、スタッフが使用毎に消毒する。
- 8) 機器展示 → 展示スタッフは常時マスク・ゴーグルもしくはフェイスシールドを着用し対応する。機器展示会場内の混雑時には入場制限を行う場合がある。展示スタッフにこまめな手指消毒の徹底をお願いする。
- 9) トイレ → 備え付けの石鹸による手洗いを促す。なお、飛散防止のためトイレ内のハンドドライヤーは運転を停止する。トイレ使用後は便座の蓋を閉めてから流してもらう。

- 10) 休憩スペースの座席のソーシャルディスタンスを確保する。

Ⅲ その他

開催地域の感染状況や道からの指導により、ガイドラインが変更または更新する場合がある。
事業開催前には「北海道消化器内視鏡技師会ホームページ」を確認してもらう。